



【目指す児童像】
考える子 健康な子
考える子 健康な子
親切な子 がんばる子

いずみ

2024.8.19
ひたちなが市立
中根小学校
学校だより No.9



児童数(1年生:52名 2年生:57名 3年生:44名 4年生:54名 5年生:62名 6年生:42名) 計311名

おやじの会主催「2024年夏休み防災キャンプ」が行われました

7月27日(土)～28日(日)にかけて、おやじの会主催「2024年夏休み防災キャンプ」が行われました。この防災キャンプは、災害時に必要な知識や技能を楽しみながら身に付けるとともに、地域の方々とさまざまな交流を通し、小学生として災害時に何ができるかについて、自ら考え実行できる力を養うことを目的として行われました。

7月27日(土)の14時に、児童、保護者合わせて約50名のみなさんが集まりました。自分たちが宿泊する場所に荷物を運び込み、段ボールを用いて簡単な寝床をつくりましたが、児童はすでに大興奮でした。

その後、この防災キャンプのねらいである「防災の学び」を音楽室と多目的室に分かれて実施しました。まず多目的室で、ひたちなが市役所生活安全課とあいおいニッセイ同和損保の方々から、災害が起こったときにどのような対応や行動をクイズを交えてお話をいただきました。その後、2つのグループに分かれて、音楽室では段ボールベットおよび簡易トイレの製作体験、多目的室ではVRゴーグルやタブレットを用いた地震、水害、火災の体験を行いました。段ボールベットは特殊な組み方で強度と安定感を保つ設計になっており、実際に横になってみると大変寝心地がよいものでした。段ボールの想像以上の耐久性と快適さを感じ取ることができました。VRゴーグルやタブレットの体験はリアリティーがあり、災害が発生した時の対応を考える有意義な疑似体験ができたのではないかと感じました。

夕食は、みんなで調理したキャンプ定番のカレーを、家庭科室でおいしくいただきました。炊飯中にブレーカーが落ちるハプニングはありましたが、児童が笑顔で食べている姿を見ていると大変幸せな気持ちになりました。

夕方、急な雨に見舞われましたが、雨のふる合間をぬって、花火、キャンプファイヤーを行い、残り火でマシュマロを焼いて頬張りしました。

就寝前は音楽室での読み聞かせがありました。音楽付きの非常に雰囲気のある読み聞かせに、児童はどんどん引き込まれていきました。きっと夜はぐっすり寝られたことでしょう。

翌朝の朝食は、防災食としてアルファ米をいただきました。アルファ米とは、災害時でも水やお湯を注ぐだけで簡単に食べられる加工米のことです。実際に調理してみると非常に美味しく、キャンプ参加者からも好評でした。その後は水鉄砲大会へ突入！児童はまるで大雨に降られた後のような姿になりながら、水鉄砲を撃ち合っていました。もちろん大人も児童たちの格好的になっていました。水鉄砲のフィナーレは、消防団の皆さんの見事な放水の中を、みんなで大騒ぎしながらぐってさらにびしょびしょに。最後は、甘くておいしいかき氷を食べて解散となりました。

児童の屈託のない笑顔があふれる中、楽しい体験をしながら防災について学ぶことができました。また、さまざまな方々とふれあいを通して、この中根という地域に住み続けたいという思いや、ひたちなが市民としてのシビックプライドの醸成につながったと感じました。

